

毎年11月15日に北岡神社の

神官を招いて行われる祭礼。 前夜祭には、町内にある「白梅 青年会」の手によって、風神大

卸問屋が軒を連ねる、戦前の経済の中心地。

当時、肥後国府のあった この地域は、町人の居住域として栄えていました。 加藤清正入国時に、熊本城下南部の

移り住まわせ、寺も移転したことから 一本木付近(熊本駅の南東)から、町人を

この辺り一帯は、古町と呼ばれています。 明治以降から戦前まで、土蔵づくりの卸問屋が

軒を連ねる経済の中心地として賑わっていた名残が、

今でも見ることができます。



民家に囲まれるように点在する寺院。

まれるように多くの寺院があります。こ が特徴。その町区の真ん中には民家に囲 古町は、碁盤の目のように割った町割り

役割もあったようです すための城下町特有の 寺に武装した兵士を隠 火災による延焼を防ぐ 配置であるとか。また、 れは、敵の攻撃に備え、

民謡「おてもやん」は、古町の人?

を組んで全国を巡業し の所望で舞いや歌を披露し、女芝居一座 永田いね。小さい頃から芸事に長け、殿様 熊本でお馴染みの民謡「おてもやん」。この いたという説があります。その人の名は、 「おてもやん」の生みの親が古町に住んで

たこともあるとか。 「五福百年」より

阿弥陀寺 Amidaji

2

民家の間にある狭い入口。 見落とさないようにご注意を。

1

白梅天満宮 Shiraumetenmangu



るで異空間のような 通路を抜けると、ま メートルほどの細い 民家に挟まれた幅1

住民によって行われています。 も風神大根や祭礼など、地域 失して再建されたもの。今で さな社殿は西南の役の際に焼 場所に天満宮があります。小





本堂に向かう通路を 入ると、迫力のある仁 王像が迎えてくれます。

古町には、他にも多くのお寺 お寺の一つです。 迫力と優美さをあわせもった は大屋根の瓦と曲線が壮大で がありますが、特に阿弥陀寺 た飯田覚兵衛の墓があります。 と言われる築城の名人であつ 熊本城の百間石垣を手がけた のを、清正公が白川べりに移 奈良時代に万日山にあったも に再移転したという古い寺。 転させ、その後現在の細工町





3 源 GenZO-NE Z N E

景観形成建造物に指定

4 鈴木邸(旧中村

小児科医院

大正はじめに建てられた

ンドルを扱うショップが の名物が楽しめる居酒屋 通りにある町屋づくり。 昔ながらの雰囲気を残す (期間限定)と手づくりキャ 階の土間部分には、町

あります。

奥の診察室の天井には鉄 ずかる軒だけだったとか。 珍しく、熊本市内でもわ 洋館。当時、洋館の医院は

がっています。

上品なシャンデリアが下 スズランの花の形をした 板に模様が打ち出され、



問) 2096-352-5187

[景観重要建造物に指定]

器季家カフェ)

Vishimuratei

瓦造りの防火壁が設けら たため、敷地の東西に煉 場があるなんとも不思議 るところに住居と船着き 倉庫、坪井川に面してい 道路に面している部分は れています。 な建物。もともと油商だつ

て栄えた往時の面影を残 店構えは、商人の町とし ています。町屋づくりの 下駄や草履などが売られ む「武蔵屋」。手づくりの 昭和2年から履物屋を営 しています。

東側の煉瓦は、2階建ての外観にあわせた

ユニークな形をしています。 問) **☎** 096-288-2011

軒の高さや窓に 配された格子が 町並みに美しく

調和しています。



問) 2096-352-6497

武蔵屋 Musashiya



塩胡椒(写真右)/2096-322-8487 ナチュラル&ハーモニック・ピュアリィ(写真左)

階には、石造りの壁が施 川に面している地下1

ショッピングを楽しん





ではいかがでしょうか。 ナチュラル&ハーモニック・ピュアリィ

[景観形成建造物に指定]

Shiokosyou / Natural&Harmonic.Purely

8

塩胡椒

ナチュラル&ハーモニック・ピュアリイ

くりですが、実際中に入 いる不思議な空間。坪井 階と、3階建てになって ると地下1階、1階、2 建ての伝統的な町屋づ 道路側から見ると2階 策途中に、お食事、休憩 が営業しています。散 クショッピングモール ストランやオーガニッ たスペース。フレンチレ され、静かな落ち着い



なぐ板橋で、新町側に御 鏡橋。昔は町屋と町屋をつ 熊本で最初に手がけた眼 た種山石工橋本勘五郎が 通潤橋や日本橋を手がけ



石橋のアーチが扁平なのが特徴で、 なアーチでは日本一と言われています。

粋な赤い屋根が目印です。



12



9 ピーエスオランジュリ

【景観形成建造物に指定】 [国登録文化財に登録]

PS Orangerie



問) 2096-356-2201

造りの建物。形、色とも美 初期の鉄筋コンクリート しく調和のとれた建物で、 大正8年に建てられた、

【景観形成建造物に指定】

森本襖表具材料店 Morimotofusumahyouguzairyouten

になっています。 オフィスとショールーム 現在は、空調器メーカーの 唐人町の顔となっています。

室内は白で統一されており、 地中海の建物を思わせるデ





重量に耐えるように頑丈に設計されているため、 現在でも車が通っています。

物です。

た大スパンが特徴の建 醸造場として建てられ 10年に旧岡崎酒店酒類 界大戦を免れ現存。明治 熊本大地震や第二次世

舗となっています。 現在は、倉庫業を営む店 明八橋と同じく、橋本勘 明十橋 Meijubashi

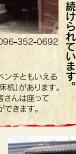
10

問) 2096-352-0085

優しい色合いの橋です。 町並みとの調和がとれた 五郎作の石橋。周囲の建物



「バッタリ床机」があります。



つつ、現代との調和が図 られています。 屋独自の風情を継承し 奥行き5間の店舗は、町 した酒屋です。間口3間、 体型の町屋建築を改修 築百年を経過する職住一



紙や襖紙がぎつしり置か 店の中にはたくさんの和 を扱う現役の材料店で、 現在もふすまなどの和紙

> 当時と同じように、床座(ゆ かざ)での商いが今でも

れています。建てられた

問) 2096-326-1568



戦後の延寿寺境内に密集したヤミ市がはじまり ど、若者の感性によって少しずつ町が変わろうと 集まる場所に。手づくりの看板やモダンアートな 昭和の町並みを生かして、起業家を目指す若者が で、多くの衣料問屋が軒を連ねた地域。現在では、 しています。